

多々羅大橋

■ 橋の概要

架設地点（広島県・愛媛県）

多田羅大橋は、現在、橋の規模を表す、塔と塔の間の長さ（主径間長）は 890m 世界で最も長い斜張橋です。また、多田羅大橋は、塔と陸地の間の桁の一部をコンクリート、塔と塔の間の桁を鋼で製作した複合斜張橋の形式が採用されています。

■ 撮影者からひとこと

多田羅大橋を撮影したのは、2001 年の 3 月末だったように記憶しております。撮影当日は、曇天で、写真撮影には不都合でしたが、通常のカメラで撮影しました。これらの写真は、ネガから jpeg 形式のデジタルデータに変換したものです。

■ 撮影者

大阪大学大学院 工学研究科

地球総合工学専攻 社会基盤工学部門

特任助手 三好 崇夫

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-1

大阪大学大学院工学研究科

地球総合工学専攻 S1 棟 628 号室

TEL : 06-6879-7599

FAX : 06-6879-7601

E-Mail : miyoshi@civil.eng.osaka-u.ac.jp